

図書館利用者と南大泉図書館長との懇談会

- 1 日時 令和元年 10 月 27 日（日） 15 時～16 時
- 2 場所 南大泉青少年館 2 階 和室
- 3 参加者 利用者 6 名
図書館 3 名
(館長、館長代理、本社担当)
- 4 テーマ 「南大泉図書館に期待する図書館サービスとは」
- 5 配付資料 (1) 図書館利用者と館長の懇談会（レジュメ）
(2) ブックリスト
- 6 次第 (1) 館長挨拶
(2) 懇談
(3) 館長挨拶

図書館利用者と南大泉図書館長との懇談会 会議録

1 館長挨拶

本日は南大泉図書館の図書館ツアーにご参加いただき、誠にありがとうございます。引き続きまして、利用者懇談会として南大泉図書館の運営を改善するために皆様からご意見をいただきたいと存じます。

皆様のお手元に A 4 カラー 2 ページの資料をお配りしております。利用者懇談会は練馬区全館で行っています。皆様から頂いた意見を参考に、より良い図書館運営を行っていきたいと考えております。図書館システムのように南大泉図書館だけで対応できないものに関しましては光が丘図書館に報告します。

練馬区の図書館では利用者懇談会と 11 月 9 日から始まる利用者アンケートでご意見をいただいております。お配りした資料の 1 ページ目に平成 30 年度の利用者アンケートの中から主だったものを掲載しております。昨年度のご意見を例にしますと、「資料の殺菌機を置いてほしい」というご意見には予算上の問題で対応できませんでした。ですが、「閲覧スペースに椅子を増やしてほしい」というご意見には 2 脚だけではありますが置き場所を確保いたしました。また、「読書履歴が分かるようにしてほしい」というご要望には自動ではありませんが練馬区図書館のホームページにある「次に読みたい本」の機能を使いフォルダーを区切って「既読の本」という項目を設定していただければお読みになった本を登録することができます。このように全てのご意見にお応えできるわけではありませんが、いただいたご意見を図書館の運営に活かしていきたいと考えております。

2 懇談

図書館 最初に南大泉図書館のイベントについてお伺いさせていただきます。本日ご参加いただきました図書館ツアーはいかがだったでしょうか。

利用者 面白かったです。

図書館 南大泉図書館ではこの他にも沢山の企画を行っております。これらの企画に関してはどうでしょうか。こんなイベントがあれば良いのに、このやり方ではないほうが良いのではないかと、などお伺いできますでしょうか。

利用者 以前に遺言に関する講座があったかと思います。家にも高齢の親がおりまして、図書館の企画を聞かせていただきました。例えば、任意後見制度などを取り上げてもらえると良いと思います。

図書館 南大泉図書館では現在「終活講座」を開講しております。この講座は連続性のあるもので、エンディングノートの使い方や家の整理の仕方などを取り上げています。この講座の最終回で行政書士の先生に遺言や相続、またそこから派生することに関する講座を開講したいと考えております。具体的な中身は未定ですが、終活に関することはリクエストも多いので考えていきたいと思っています。

利用者 本屋の世界も売上げが激減しています。例えば、出版社の方が現状をどう捉えているのか、本屋としてはどういう出版界にしていってほしいのか、など業界話を聞ければと思います。

それと、新刊の出版社が「図書館があるから新刊が売れない」とよく言います。果たして本当にそうなのか、実際には図書館と売上比率は関係ないというデータもでています。そういうところで、文春などが図書館を槍玉にあげていますが、そうではなく、出版界としてどうしたいのかを聞ける場があればと思います。

図書館 その立場の方々が図書館で講演をして下さるかは難しい点もありますが、検討していきたいと思っています。以前に一度、辞書の編集に携わったことのある方に講演をお願いしたことがございます。そういった所からも考えさせていただきます。

利用者 一昨年ですが『君たちはどう生きるのか』という本がリバイバルで売上げを伸ばしました。そういう事を出版界はどう考えているのか知りたいです。その辺を活性化させることで、図書館も隠れた名著の掘り起こしをしてほしいと思います。北海道の書店が1万円であなたの本を選びますというのがありますが、あれに似たようなことが図書館でも出来るのではないかと思います。

図書館 その書店の企画は、希望が多く、順番待ちになっているという話を聞いています。

利用者 趣味に関してこんな本がありますが、どうですかみたいな感じで掘り起こし的なことができないかと。

図書館 少し主旨が違うかもしれませんが、これから年末年始にかけて「本の福袋」を行います。図書館員がそれぞれにテーマを設けまして、袋の中に書名が分からないようにして3冊ほどの本を入れます。その中には貸出回数は少ないけれどもとても

良い本を入れています。年末になりますが、現状では一番近い企画になると思います。今のご意見からも取り入れさせていただければと思います。

利用者 図書館にイベントのチラシが置いてあるかと思います。それを見ていると子ども向けの企画が多いと感じます。今日の図書館ツアーももしかするとお子様向けかなと。私が申し込んだのでは場違いなのかなと最初思ったぐらいに中高年、高齢者の方が抱えている関心事、先ほどの遺言の話もそうですし、年金もあるかもしれないし、介護の話もあるかもしれないし、そういう切実なテーマもいっぱいあると思います。難しい講演会はあちこちでやっていると思いますが、地域の人が集まって少し勉強するくらいのレベルの内容でやっていただけるとお見えになる方が増えると思います。先入観的に子ども向けのイベントだろうという、青少年館との併設ということもあり、そういうことかなと思ってしまい、あまり見なかったりします。

図書館 確かに青少年館との合同の企画もありますし、子ども向けの企画もございますが、昨日も「古典まつり」という百人一首をテーマにした企画を実施しました。こちらは大人の方が対象でした。企画の割合としては子ども向けよりも大人向けのほうが多くなっています。当館には分室としてこどもと本のひろばがあり、子ども向けの企画の多くを分室が行っています。このため、南大泉では比較的大人向けのものが多いのですが、ポスターにしてみると大人向けと子ども向けの差が分かりにくいこともあるかもしれませんので、はっきりと分かるような工夫もしていきたいと思います。

利用者 対象者、大人向けと書く必要はないと思いますが、大人の方が関心を示すような内容ならばよろしいのではないかという気がします。

図書館 ありがとうございます。考えていきたいと思います。

利用者 運営に対する意見ではないのですが、私はこの街に移り住んで間もないのですが、このところ台風や水害が多発しています。この図書館は低いところにありますが、そういう被害が気になります。

図書館 半地下のような構造になっています。

利用者 今回の台風では、幸い何ともなかったみたいですが、街に昔から住んでいる人に聞いてみると大変なことがあったと言われました。そういう水害対策というのは益々頻繁に来るのかもしれないので、図書館の現在の立地からして安全の措置が講じられているのか、そこが最近気になっています。

図書館 お答えさせていただきます。今の話しにもございましたが、当館は水没したことがございます。1階の本日ご案内した箇所が水で覆われてしまったことが実際でございます。

利用者 それはいつ頃の話ですか。

図書館 10年以上前の話になります。

利用者 そんなに昔の話ですか。

図書館 そのことがあったため、図書館の周りに止水板を設置しました。止水板を上げることで外側から水が回って来ないようにしています。普段は図書館の一番外側の外壁にあたる部分の止水板を上げているのですが、この間のような台風ですとか集中豪雨の予想がある時には自動ドアの前に大きな止水板があり、これを上げておきます。普段は地下に収納されていますが、それを上げると図書館の正面にもう一枚防護柵ができることになります。これらの防護柵を使って外側からの水を防ぎます。次に今回も問題になっていた下水の逆流ですが、下水が上がってくる可能性のある取水口の部分、図書館の内部にもいくつかありますが、大雨の予想が出ているときには取水口の周りに吸水性のシートを敷いておきます。万が一取水口から水がでても拭くのではなくそのシートを捨てれば済むようにしております。また、外からは見えませんがこの建物の地下には 90 cm 角の水槽のようなコンクリート構造が並んでいます。そこに雨水は湧水が溜まるようになっています。そこには釣りの浮のような水深計がついており一定の推進を超えるとモーターが動いて中の水を排水する仕組みがございます。外からの防御、逆流への対応、普段からの水深の変化への対応の 3 つに分けて対応しております。もちろん、これでも十分とは言えないかと思います。川の氾濫のような事態には防護柵では防げないと思いますが、一般的な意味での降雨では前回の浸水以来被害を受けておりません。

利用者 白子川も治水をやりましたよね。水を貯めるところも作っていますよね。

図書館 はい、比丘尼橋の辺りに貯水池があったと思います。また比丘尼橋の周りにはグラウンドが整備されており、万が一水が溢れた場合にはそのグラウンドに水を流すようになっています。石神井川も護岸壁の整備が進んでいると聞いています。以前に比べると川の氾濫自体が押さえられていると思います。今回の水害を見ていると絶対はないと思いますが、先ほどご説明したような仕組みで図書館を守っています。

利用者 一応、考えられる範囲では対応していただいているということですね。

図書館 よく言われる想定外のものには対応できないとは思いますが。

利用者 1 日に 1,000mm というものや 1 時間に 100mm というものになるとキリがないと思いますが、色々と考えて実行されているということで多少は安心しました。皆様が働いている結晶が水に漬かったらどうしようもないので。

図書館 小さな防御ですが、今回も 19 号の時には書架の一番下の本を可能な限り一番上に上げました。図書館としても自衛努力は欠かさずにさせていただいております。

さて、次は当館の職員の対応についてお伺いします。職員の対応で何か気になる点や、不快な思いをしたというようなことなど何か改善した方が良い点があれば教えていただきたいのですがいかがでしょうか。

利用者 私個人は不満に感じることはないです。丁寧にやっていただいております。

旅行先のガイドブックをお願いしたら、色々と探して持ってきてくれました。

さらに、他の館にも良いのがありますと、すごく丁寧に対応してくれて嬉しかったです。

図書館 現在のところではご満足を頂いているという判断でよろしいでしょうか。

利用者 私は以前文京区の図書館に勤めていましたが、文京区の図書館よりもずっと良いと思います。

図書館 練馬区では図書館ビジョンを作成し、練馬区全体で取り組んでおります。では、図書館システムのように南大泉のみではないことで、使いにくいというようなこと等は何かないでしょうか。

利用者 先ほどの資料に掲載されている「新刊が少なく順番がなかなか回ってこない」という点です。家内は本が好きで図書館に近いので新刊がでるとその記事を持ってすぐに図書館に行き申し込みをします。しかし、あっという間に 100 を超えて忘れたところに電話がかかってきて借りに来ることがあります。予算の関係もあるのではないと思うのですが、多くの方がそういう体験をされていると思いますので可能であれば新刊を増やしてもらいたいと思います。

利用者 難しいところです。予算がふんだんにあって、沢山買えばよいという話でもないのでしょう。出版文化を根っここのところから絶やしてしまうことにも場合によっては繋がりがかねない。

図書館 練馬区は 23 区でも予約数の多い区なので、そういう意味でもご迷惑をおかけしているのではないかと思います。たまに聞くのが、西東京市の図書館で予約した方が早く回ってくるといふものです。それだけ練馬区の図書館をお使いいただいているということで嬉しいことなのですが、難しいところでございます。もちろん、人気のある本につきましては副本を 2、3 冊入れているのですが、その数を極端に多くすることも難しく悩ましいところです。

利用者 岩波ホールで「ニューヨーク公共図書館」という映画を見ました。実際にニューヨークで寄ったこともあります。とにかくすごい図書館です。その図書館が地域活動の拠点になっているわけですが、その世界一立派な図書館と思われるニューヨーク公共図書館ですら今のテーマで悩んでいました。

図書館 この問題はなかなか答えが見つからないのだと思います。本を寄贈して下さることもあります。寄贈の本を全て所蔵するわけではありませんが、予約数なども考慮して所蔵を考えています。少しずつではありますが、人気のある本を少しでも早く回すようにという努力をしております。

利用者 「ゼロ本」を私はよく見ているのですが、最近あまり更新されていないようですが、こんな良い本が何でゼロ本なのと思うことがあります。貸出履歴がゼロということですが、立派な本がありますよね。だから、ああいう角度で皆の目に留まるようにするのは良い企画だと思います。

図書館 良い本だけれども借りられていない本はかなりあります。特に大型の本に多いです。手に取られても持ち帰れないということもあるかと思います。ゼロ本として展示するとよく借りていただけます。

昨年度より展示スペースを広くしたというのがありますが、順調に貸し出しています。これまで2冊くらいのスペースを6冊ほど置けるようにしたところ貸出が増えました。やはりスペースがあるというのは大切だと思いました。借りられていない本が展示のままになっていることもあります。特に大きな本がネックです。

利用者 私が借りたのも大きな本です。よくぞ出してくれたと思います。両脇に抱えて持ち帰りました。

図書館 ゼロ本を出すもう一つの理由として、除籍との関係があります。図書館では新しい本を購入すれば必ず除籍を行います。除籍しないと新しい本が入れられません。除籍の本を選ぶ基準の一つに貸出回数があります。あそこに並べたことで除籍されなかった資料もあります。私の記憶が正しければ、光が丘図書館でもゼロ本に該当する資料の展示を児童書について実施していると思います。

利用者 良い本には新しい古いはないと思います。我々は目に触れる機会が少ないだけだと思いますので、ああいう形で目に触れさせてくれるときかけができます。しかし、書店はそれができません。書店はスペースが決まっています市場主義なので、ロングテールは図書館が担ってもらえるとありがたいと思います。

図書館 出版社の方にもご理解いただけると良いのですが。

必ずしも売れ筋の本を出すことで書店と競合するということではなく、数はあまり売れなくても良い本を図書館は所蔵していきたいと思います。また、資料のリクエストもできますので、良い本があれば選書のきっかけにさせていただきます。

利用者 練馬区の図書資料にタグは入っているのでしょうか。

図書館 入っています。先ほどゲートで鳴ったのがタグになります。ただし、南田中図書館を除いてタグに書誌データは入っていません。豊島区などは全てのタグに書誌データが入っているようです。

利用者 1、2か月前の新聞に図書館とプライバシーに関する記事がでていました。図書館協会では規定されているが、図書館によっては警察が来て個人がどんな本を借りているか聞かれたときに「令状がなければできません」というところと「はい分かりました」というところがあって最近問題になっているという記事を読みました。つい最近人から聞いた話ですが「練馬区でも最近の区議会でそういう議論がされた」という話を聞きました。

図書館 貸出履歴に関しましては、練馬区のシステムは返却をすると完全に履歴が削除されるようになっています。私が不正にお客様の履歴を覗こうとしても物理的に無理というシステムになっています。仮に警察官が申請してきても見せられませんので、ご安心していただいて良いと思います。貸出履歴については個人情報の保

護が最優先となっています。

利用者 文京区でも個人情報保護法みたいなものが厳守されていて館内で利用者の名前を呼ぶことすら禁止でした。家族に電話をかける時にも書名を家族に伝えることは駄目で徹底されていました。図書館もやられていると思いますが。

図書館 練馬区も一緒です。

利用者 どこかの図書館に防犯カメラの映像を見せてほしいという話だったかもしれませんが。

図書館 当館にも防犯カメラがございます。外向きの防犯カメラに関して、警察から刑事事件の捜査で参考人と思われる人物が映っている可能性があるのを見せてほしいという要請があることはございます。ただし、警察から要請があってもその場で映像を見せることはありません。カウンターにきた警察官が所属している警察署長から捜査関係事項照会書という公文書を出してもらいます。会社と練馬区の両側に確認して両方の許可が下りない限り警察であっても映像を見せることはありません。捜査という名目でも何でもオープンになるという訳ではございません。

利用者 わかりました。

図書館 南大泉図書館の施設について、ここを変えたら良いのではないか、ここは危ないのではないかなど気になる所はございませんでしょうか。最近、図書館正面の階段にセンサーライトをつけました。そのようなことで、ご利用者様から見てここが改善されたらもっと使いやすいのにとすることはございませんでしょうか。

利用者 拡大鏡はありますか。

図書館 あります。カウンターにお申し付けください。

利用者 機械式で画面に映し出されるものですか。

図書館 そこまでのものありません。あるのは虫メガネみたいなものです。拡大鏡マシンは検討したのですが、使用頻度を考えると今のところそこまでの設備は考えておりません。また、新聞を読むために平置きできるものもあります。1行、1行を目で追いやすくするための器具もございます。筋が入っていて、読んでいる部分が浮き上がるような感じになります。それをずらしながら読んでいただくと読んでいる場所も分かりやすいです。リーディングルーペと呼んでいます。ぜひ一度お使いください。

利用者 入口が気になります。雨の日は滑りやすいと思います。

図書館 けっこう急です。あの階段には降りる側から見て右側にしか手すりがありませんので、逆サイドの方にも手すりをつけたいと考えています。

利用者 スロープはありますか。

図書館 あります。

利用者 あの階段は少し怖いかもしれないですね。特に夜は。

図書館 元々がとても暗かったのでセンサーライトで人が通る時には先に明かりがつく

ようには対応しています。

利用者 前を通るたびに自転車を止めて掲示板を見えています。最近の掲示板は殺風景だと思います。昔はもっと飾り付けていました。掲示板は図書館の顔だと思いますので、職員は大変だけど良いなあと思っていました。いつからか急に殺風景になりました。職員の負担になっているのであれば、仕方ないと思います。そうでなければ、復活させてほしい。

それと、事業紹介にもあるように地域行事への参加、福祉施設への出張おはなし会などがあります。私も全部に関わっていますが、図書館がこんなところまで来てやってくれているのだという想いが、指定管理者制度になってから積極的に地域に出ていると思います。素晴らしいと思っています。以前は、図書館は本の貸出し、イベントは他のセクションがやれば良いと思っていました。図書館がこういう形でやってくれるのがとても良いと思います。ただ、職員が大変だと思います。全員がお仕事としてやってくれるのは素晴らしいし、今後も続けていただければ嬉しいです。

図書館 掲示板への飾りは、図書館職員の数が限られていて急に対応できないかもしれませんが、今後も考えていきたいと思います。

外部施設へのおはなし会の提供等については、資料を持っていることの強みを生かして地域の皆様とともに図書館の運営をしていきたいと思っています。

利用者 中心軸は当然、本だと思います。ただ、地域における広い意味での文化拠点の一つだと受け止めるのであれば、入り口の広いスペースに地域の方の絵だとか何でも構いませんが時々飾ってみるというのもありだと思います。勤労福祉会館でも似たようなことをしていますが、心が和むことがあります。図書館に来る人も多いと思うので、その通り道に絵が飾ってあり一週間単位くらいで変えてみるとか、そういう風なスペースの使い方を検討してもらっても良いかと思います。

図書館 そういう形を含めて、地域の情報発信の拠点としてのあり方を考えていきたいと思っています。少しパターンは違いますが、図書館の事務室の脇にガラスケースがございいます。そこに順天堂大学練馬病院のがん患者さんとその家族の方が撮られた写真を飾っていますが、館としては、出来るところからやっていきたいと思っています。

利用者 春日町の図書館ではオープンスペースのギャラリーで展覧会をしています。あそこは、それを売りにしていると思います。真似をする必要はないが、南大泉図書館らしく、ただ本だけというのではないものがあっても良いかもしれません。

図書館 ご意見として承ります。

利用者 メール便は一日に何回来ているのでしょうか。

図書館 2回です。

図書館 長時間に渡りありがとうございます。最後になりますが利用者懇談会のアンケートをお配りしますので、今後の参考にご記入をいただければと思います。同時に

できたばかりのブックリストをお配りしております。青少年向けですが、大人の方にも十分に楽しんでいただけます。今回は読書ノートの形態となっております。

利用者 この懇談会には初めて参加するのですが、どのくらいの頻度で行っているのでしょうか。

図書館 年に1度、読書週間に全図書館で実施します。

3 館長挨拶

11月9日からは利用者アンケートも実施いたします。本日のこと以外にも何かございましたら、お教えいただければと思います。頂戴いたしましたご意見で可能なものにつきましては反映していきたいと考えております。今後とも南大泉図書館のご利用をよろしく願いいたします。本日は本当にありがとうございました。